

学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.171

2017.7

CONTENTS

コラム / 名大祭 / 体育大会 / クラブ活動
教育推進部の窓 / トピックス / 災害対策 / 伝言板

COLUMN

体に沁み込む教養教育

理事・副総長 松下 裕秀

私は1970年代に名古屋大学工学部で学生生活を送った。当時も現在と同じように入学時に学部・学科は決まっていたが、入学者が大学に入る教育組織は教養部であったことは今と違っていた。この教養部の授業を受けてみて、まず自然科学系の科目では高校までに教わってきたものに比べて余りのレベルの違いに驚き、学問の壁の厚さ、高さを思い知った。一方で人文社会科学系・語学系の授業は、知的好奇心を擽るものが少なからずあり、大いに「楽しむ」ことができた。歴史的発見に続いて報道発表されたばかりの高松塚古墳壁画について、おそらくシラバス内容を急遽変更して、教室に画があるかのごとく体を使って生き活きと語った日本史の先生、松尾芭蕉の旅を門人との妖しげな関係を中心に純粋な文学の視点だけでなく説いた国文学者、そして英語の授業そっちのけで批判精神たっぷりに世界中の問題を憂い事として語った英文学者など、40年以上経った今でもその授業内容と講師の表情を鮮明に覚えている。そしてこれらは間違いなく、長年にわたり曲がりなりにも大学教師を勤めてきた私の心の肥やしになっている。あの授業のお陰で、いまでも古墳に関する展示があると聞くと、魅せられたように明日香村に脚を向ける自分が居る。今年の5月にも解体された高松塚古墳の石室を見たばかりである。また、物事を批判するためには、自らで善し悪しの判断をしなければならぬが、英語を教える代りに痛烈な批判のスヌメを植えつけてくれた「講話」にも感謝したい。時は経ち、私は今、はからずも大学の教育の責任者をやっている。振り返ると、上に記した類の授業が、知の継承としての真の教養教育ではなかったかと思う。しかし、シラバス通りに進むなんてことは滅多にない授業は、現代では悪い例に入れられてしまうだろうし、そんなことをしたらどこかに暴かれてしまうかもしれない。約束を守らない姿勢を擁護する気は微塵もないが、質の高い教師によるあれくらいの裁量が今でも許されても良いのではと個人的には勝手に思っている。

私は、化学と物理の間にある研究領域を専門としているので、上に掲げたような、学生にその場で面白いと感じさせる授業を授けられることはまずないが、心持ちとしては教室で出くわした若人が後に振り返ってくれるような講義ができればよいと常に自分に言い聞かせながら、未だに拙い授業を続けている。

名大祭

第58回名大祭「興名盛大」が開催される

第58回名大祭が6月8日(木)午後から6月11日(日)までの3.5日間、「興名盛大」をテーマに東山キャンパスで開催されました。今年のテーマには、普段研究室やサークルでの活動で蓄え内に秘めたエネルギーを、この名大祭で盛大に、燃え尽きるまで出し切ってほしいという思い、そして、この名大祭という名の『名大興し』に懸ける学生たちの熱や勢いをたくさんの人々に感じてもらいたいという思いが込められています。

名大祭開催に先立ち、5月21日(日)には名大祭のプレ企画として恒例の「仮装行列」が白川公園と栄周辺で行われ、参加した学部1年生がクラスごとに仮装し、栄の街を練り歩きました。

名大祭初日となる8日(木)は、授業が終わった学生がオープニング企画へと足を運ぶ姿が多く見られ、多くの学生が名大祭の開催を全身で感じていました。夜に行われた「当夜祭」のダンスコンテストでは各チームから多様なジャンルのダンスが披露され、初日の夜を盛り上げました。

9日(金)は2年連続の晴天となり、学内各所でここ数年とは雰囲気の違いが見られました。特に近隣町内会の方々の協力のもと、第3グリーンベルトにやぐらを組んで行われた「盆踊り」は、本学学生のみならず、お子様連れのご家族や友達と遊びに来た小学生なども多く見受けられ、学生と地域の方々との交流が盛んに行われる場となりました。

10日(土)、11日(日)は北側メインストリートに飲食物を扱う模擬店が並び、千種保健所の助言を得た厳しい衛生管理体制のもと、32団体の学生等による活気ある呼び込みで大いに賑わいました。

今年度の学術講演会企画は10日(土)に行われ、JAXA職員であり本学卒業生の岩田直子氏により『宇宙に届け！文学少女の夢』という題目で講演が行われました。学生を中心に幅広い年齢層の方が会場を訪れ、普段は触れることの少ない宇宙についてのお話や、かつて文学少女だった岩田氏が宇宙に魅せられたエピソードに興味深く聞き入っていました。

また、4年ぶりとなる学術総合企画が11日(日)に行われました。来場者が4種類に分けられた『時代』にまつわるブースに立ち寄り、各時代の発明や発見を実際に目で見て体験している姿が見られました。普段では得られない体験に驚く来場者で溢れていました。

来場者参加型企画として4日間を通して行われたモザイクアート企画では、200～300人も来場者や有志団体を撮影した写真で大きさ約2m×約4mの巨大なモザイクアートが出来上がりました。

その他にも様々な企画が学内各所で行われ、特にメインステージで行われたよさこいやダンスなどのパフォーマンスは多くの来場者を魅了し、発表者自身も来場者と共に楽しむ姿が見受けられました。また、開催期間中の第1グリーンベルト周囲にはLEDイルミネーション装飾が施され、名大祭の夜を彩りました。

最終日となる11日の夜には、第58回名大祭を締めくく「後夜祭」がメインステージで行われ、冒頭ではジャズの演奏が来場者を引き込み、来場者参加型の企画が行われた後、毎年恒例の火舞パフォーマンスが最後の時を盛り上げ、その火が消えるとともに今年の名大祭の幕が閉じました。

今年度は推計8万人の人々が来場し、多くの学生や来場者による醒めようのない盛り上がりを感じられる名大祭となりました。



「第58回名大祭を終えて」



6月8日(木)午後～11日(日)にわたり、名古屋大学東山キャンパス全域で第58回名大祭が行われました。今年度は木曜日の昼過ぎにかけてはあいにくの雨に見舞われましたが、それ以外は全て晴れ模様での開催となりました。天候に恵まれたこともあり、昨年と同様、約8万人もの方に足を運んでいただきました。

「最近の若者は積極性や主体性がない」という言葉をよく耳にしますが、それを言い訳に萎縮したくない私は思っていました。たしかに昔、大学で見られた「学生運動」のようなものは姿を消しつつありますが、名大生が部活動やサークル、研究室などでの成果を発信し、自分たちの想いや存在を社会に示していく、という名大祭の核心ともいえる部分は第1回以降変わることなく受け継がれていると自負しております。テーマ「興名盛大」にもあるとおり、来場者と一体となって祭を盛り上げ、心を興し、名大を興す。そんな名大生の真剣勝負に大きく関わられたことを誇りに思います。

1年間、委員長として活動してきて、この名大祭がたくさんの人に支えられていることを知りました。OB・OGを含めた実行委員はもちろんのこと、近隣住民の方々、教職員など各方面の関係者の方々、有志企画や研究公開、模擬店などの参加者や一般の来場者まで、名大祭に関わる全ての人のご理解やご協力があったこそ、私の好きな名大祭が完成していくことを実感しました。この場を借りて深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

私たちの代はこれで終わりですが、名大祭は今後も続いていきます。今年から始まった2団体(名大祭本部実行委員会と名大祭一・二年生実行委員会)の合併や普段の活動での反省点は多くあり、後輩たちがよりよい名大祭を作り上げてくれることを期待するとともに、これらを確実に引き継いでいきます。

これからの名大祭は合併によって力強さを増し、より大きな賑わいを見せてくれるはずです。そこでの若さあふれる名大生の姿を、多くの方に暖かく見守っていただければ幸いです。第59回名大祭にもどうぞご期待ください。

第58回名大祭実行委員会 委員長 野村 凱



教育推進部の窓

海外留学について

留学情報の提供&相談窓口として、国際棟(旧留学生センター)1階に「海外留学室」を設置していますので気軽に利用してください。

海外留学のサポート体制

海外留学室のサポート

海外留学入門セミナー・・・毎週火曜日 12:15～12:45 国際棟(旧留学生センター)1F 海外留学室にて開催 予約不要

海外留学を実現するための最初の一步として、留学担当教員が留学プログラムの概要や選考の流れ、必要な語学レベルと成績、単位、奨学金、留学計画のヒントなどについてご説明をしますので、気軽に参加してください。

- 海外留学情報の提供(ホームページ、facebook、メーリングリスト、図書貸出)
- 説明会(交換留学、短期研修プログラムなど)、英語を含む留学準備講座、セミナーなどの開催
- 個別相談(予約制/専任教員が担当)
- 留学出願手続きのサポート

名大の主な留学プログラム

協定校への「交換留学」は応募から渡航まで半年以上かかるため、長期計画で臨む必要があります。一方「短期研修プログラム」は準備期間が短く、語学条件なども緩やかなため、交換留学前のお試し留学として利用する学生が多くなります。欧米以外の大学であっても、英語で講義を受けることのできる大学もありますので、相談に来てください。

- 名古屋大学協定校への交換留学(原則1年間。1学期間も可能)
世界41カ国約200校以上
- 名古屋大学協定校(全学)への短期研修プログラム(2週間～1ヵ月程度)
【海外研修を含む全学教養科目】
・シルクロードの文化(ウズベキスタン) ・アジア現代事情(モンゴル)
・米国の大学生活(ノースカロライナ州立大学・オレゴン大学) ・東アジアにおける文化(韓国)
・欧州における文化(フランス) ・東南アジアにおけるビジネスキャリア(タイ)
【海外特別研修】
カルガリー大学(カナダ)/モナシュ大学 Global Professional Program(豪州)/ガジャマダ大学(インドネシア)/スコットランド研修(英国)
【言語文化Ⅲ(教養教育院)】
同済大学(中国語)/フライブルク大学(ドイツ語)など
*上記以外に協定校が実施する短期研修などもあります
最新情報はこちら <http://ieec.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/abroad/program/index.html>

海外渡航について

海外へ渡航する際の届出について

海外へ渡航する学生は、オンライン上でデータベースへの入力をする必要がありますので、渡航前に下記のデータベースにアクセスしてください。

1. データベース入力目的

海外で災害・テロ、感染症発生等の緊急事態が発生した際に、名古屋大学から該当地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行うためのものです。

2. データベースへの入力方法

以下のURLにアクセスし、名古屋大学IDとパスワードを入力してログインし、案内に従って入力してください。

<https://tokouiee.nagoya-u.ac.jp/tokou/>

※下記からもアクセスできます。

名古屋大学HP トップ画面右上 Google カスタム検索で「海外渡航データベース」と検索。

海外渡航
データベースの
QRコード



3. データベースに入力するメリット

データベースに入力することにより、「海外渡航届」、「留学願」、「海外渡航(留学)中の連絡先(緊急連絡用)」の届出様式をデータベース上からダウンロードすることが可能となり、届出様式に記入する手間が省略できます。

またオンライン入力なので、渡航先を含む学外からもアクセスが可能です。スマートフォン・タブレットにも対応しています。

海外渡航データベースについての照会先 / ■届出書類に関すること: ■データベースへの入力に関すること:
▶所属学部・大学院の教務担当部署 ▶教育推進部 学生交流課
E-mail: tokoudb@adm.nagoya-u.ac.jp

教育推進部の窓

学生相談総合センター案内

学生相談総合センターには、臨床心理士による学生相談、精神科医によるメンタルヘルス相談、キャリアカウンセラーによる就職相談、そして障害者支援の専門家による障害学生支援の4つのセクションがあります。

長い学生生活の中では、学業、友人や家族関係、恋愛、進路などに関する悩みや不安を抱くこともあるでしょう。毎日の生活の中から生じる悩みや課題と向き合うことは、自分自身について考

える良い契機にもなります。日常生活では悩みや課題にゆっくり取り組むゆとりをなかなか持ちにくいものです。そんな時に学生相談総合センターを利用してください。

学生相談総合センターは学部や研究科とは独立した組織です。プライバシーは守られますので、気軽に相談してください。保護者・家族の皆様からの相談も受け付けています。



相談の申し込み方法

- ①直接受付に行き申し込む ②電話で申し込む ③メールで申し込む



お問い合わせ・連絡先

<p>学生相談部門 052-789-5805 工学部7号館B棟2F 学生相談総合センター受付</p>	<p>メンタルヘルス部門 052-788-6276 保健管理室1階 受付</p>	<p>就職相談部門 052-789-2176 工学部7号館B棟2F 学生支援課 就職支援室</p>	<p>障害学生支援室 052-789-4756 工学部7号館B棟2F 障害学生支援室</p>
---	---	--	---

<p>学生相談総合センター 受付：平日10:00～17:00（祝日を除く）</p>	<p>URL：http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/ E-mail：soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp osd@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp（障害学生支援室）</p>
--	--

学生相談総合センターでは専任相談員のほかに、各分野に精通した兼任相談員も皆さんをサポートしています。詳しくは、「学生便覧」、「学生相談総合センターだより」、「学生相談総合センターホームページ」をご参照ください。



Peer Support

「ピア・サポート」とは「ピア（仲間）」同士で助け合うことです。学生相談総合センターには、3つのピア・サポート制度があり、学生たち自身が主体的に助け合う体制が整備されています。相談したいあなたも、サポーターとして活動したいあなたも、お気軽にご連絡ください。(E-mail :soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp)

学生生活について

困ったことがあったら、相談に来てください。
場所：中央図書館2F ピアサポブース
時間：水曜日12～16時（長期休暇期間除く）



就職活動について

進路の決まった頼りになる先輩たちが、あなたの就活応援します。
就職の決まったみなさん、サポーター活動してみませんか
場所：工学部7号館B棟2F 就職支援室



障害学生支援について

障害学生支援の活動をしています。
興味がある人、ちょっと気になる人は、連絡を！！
場所：工学部7号館B棟2F 障害学生支援室



学生会館の利用状況

教育推進部学生支援課

学生会館は、本学東山区の北端（北部厚生会館の北隣）にあり、学生の課外活動、自治活動等に利用できる施設です。館内には集会室、和室、談話室及び理容室があります。集会室は9室(50名用2室、30名用2室、25名用2室、20名用2室、15名用1室)、和室は2室あり、これらは主としてサークル団体が課外活動に利用しています。談話室は学生が授業外の時間等に利用できるコーナーで、休息をとったり、囲碁や将棋を楽しむことができます。

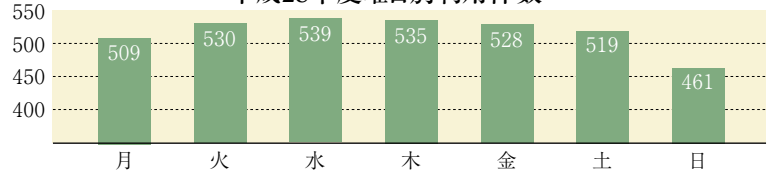
平成28年度においては、年間359日開館され、集会室及び和室の利用件数は3,621件（1日平均10.0件）、利用者数は118,241人（1日平均329.3人）となっています。



平成28年度月別利用状況

年	月	開館日数	利用件数	利用者数			
				学生	教職員	計	
28	4	30	299	9,301		9,301	
	5	31	324	10,179		10,179	
	6	30	253	8,254		8,254	
	7	31	295	11,577		11,577	
	8	31	340	9,881		9,881	
	9	30	313	10,387		10,387	
	10	31	319	10,668		10,668	
	11	30	311	10,417		10,417	
	12	28	287	9,342		9,342	
	29	1	28	277	8,569		8,569
		2	28	292	9,185		9,185
		3	31	311	10,481		10,481
計		359	3,621	118,241	0	118,241	

平成28年度曜日別利用件数



中津川研修センターの利用状況

教育推進部学生支援課

この施設は、東海地区国立大学の共同利用施設として、学外における演習・実習・課外教育等を通じて、学生・教職員間の、さらには大学間の交流を図り、学生の人間形成に資することを目的として設置されています。

研修センターのある岐阜県中津川市の苗木地区は、旧苗木藩の城下町として知られる風光明媚な地域です。近くには中津川市鉱物博物館、恵那峡県立公園等が、少し足をのばせば、旧中山道沿いに鳥崎藤村記念館、馬籠・妻籠等の旧宿場があります。

同センターは5人以上の団体が4泊5日以内の研修計画を立てれば、誰でも気軽に利用できます。平成28年度には、33団体、延べ3,509名(実人数1,284名)の利用がありました。

宿泊室には和室と洋室があり、一部洋室には大型ベッドを配置しています。また液晶プロジェクタや無線LANによるインターネット接続を利用することができます。

利用についての詳細は、教育推進部学生支援課(052-789-2165)にお問い合わせください。



平成28年度大学別利用団体数

大学名等	団体数	%
名古屋大学	23	70
名古屋工業大学	0	0
愛知教育大学	0	0
豊橋技術科学大学	0	0
岐阜大学	1	3
三重大学	0	0
静岡大学	1	3
浜松医科大学	1	3
東海地区外国立大学	1	3
公・私立大学	0	0
その他(高専地域団体等)	6	18
計	33	100

平成28年度利用状況

区分	利用者数(人)	%
学生	1,068 (419)	31
教職員	396 (130)	11
その他	2,045 (1,004)	58
計	3,509 (1,553)	100

注:延べ利用者数を示す。
()内は女子の内数。

施設の概要

- ◆ 研修棟(面積:1,348m²)
 - ・大研修室(100人収容)
 - ・中研修室(50人収容、2室分割可)
 - ・宿泊室(和室7室)(5人×2室、4人×5室)
洋室5室(3人×3室、8人×2室)
- ◆ 体育館(面積:1,348m²)

教育推進部の窓

就職支援室及び就職相談室の利用案内

教育推進部学生支援課

就職支援室（工学部7号館B棟2F学生支援課）

◆ 就職支援室について

就職支援室では、就職活動に役立つ情報を提供し、年間を通じて進路探索活動を支援しています。積極的に活用してください。

◆ 窓口での相談対応を行っています。（予約不要）

就職支援室窓口では、職員が就職相談（エントリーシート等の相談含む）に対応しています。

※文章の内容確認の場合は、プリントアウトして持参下さい。

窓口対応のため、予約は不要ですが、混みあうことがありますので、時間的余裕をもって来室して下さい。

◆ 就職支援室で利用できるツール1【閲覧・貸出編】

◆ 学部・研究科別 就職先一覧

平成20年以降の全名古屋大学卒業・修了生の全就職先と各就職人数が、学部・研究科別、年度別に記載されています。どの企業・団体に、どの年度に何人先輩が就職しているかがわかります。

◆ 先輩の就活レポート

「選考の流れは？」「一次面接ではどんなことを聞かれた？」など、企業・団体別に、内定に至るまでの就職活動の詳細について、先輩が残してくれたレポートです。

※もちろん、国家公務員・地方公務員に進んだ先輩のレポートもあります。

◆ 求人票・会社説明会案内・会社案内

名古屋大学生を積極的に採用したいと考えている企業・団体が、来訪又は郵送にて届けてくださった求人情報を設置しています。就職支援室には、毎年、約3000件の求人票が届きます。国（各省庁）・各自治体からの情報も届いています。

◆ OB・OG名簿 ※閲覧には学生証が必要です。

◆ インターンシップ開催情報



◆ 就職活動に役立つ書籍が250冊以上！（一部を除き貸出可能です。）

民間企業、公務員、教員にかかわらず、就職活動に役立つ書籍が多数あります。

◆ 国家公務員・地方公務員採用試験過去問題集（一部を除き貸出可能）

◆ 新聞・経済誌を複数種類設置しています。

◆ 業界研究セミナー、就職ガイダンスなど、過去就職支援室で開催したイベントのDVDを貸し出しています。

◆ 就職支援室で利用できるツール2【掲示物編】

就職支援室の壁面には、様々な情報が掲示されています！

- ◆ 各企業、団体、国・地方機関の説明会開催情報
- ◆ 就職支援室主催のイベント開催情報
- ◆ 学外で開催される就職関連イベント情報
- ◆ インターンシップ関連イベント情報



◆ 就職支援室で利用できるツール3【キャリアインサイト】

「キャリアインサイト」=パソコンによる職業診断システムです。自己理解が職業適性を知るきっかけとなります。

受検後は、就職相談員の面談をうけることで自己分析のヒントとして利用できます。

就職相談室（工学部7号館B棟2F 学生相談総合センター）

◆ 就職相談室について

工学部7号館就職支援室に隣接する就職相談室には、学生相談総合センター就職相談部門の専任相談員（キャリアカウンセラー）が3名常駐し、学生の皆さんの進路や就職に関する相談に応じています。

◆ 相談対応

就職活動期だけではなく、年間を通じて相談対応しています。就職活動への意識が高まりだす冬休みや、教員や公務員試験が本格化する夏休みにも就職支援室同様に多くの就職活動生が利用しています。

相談は一人30～50分、個別相談体制です。落ち着いた雰囲気の中じっくり時間をかけることで、自分についてや社会についての理解を深めたり、疑問や不安の元になっているものを一緒に解決できる場となっています。

◆ 対象学年

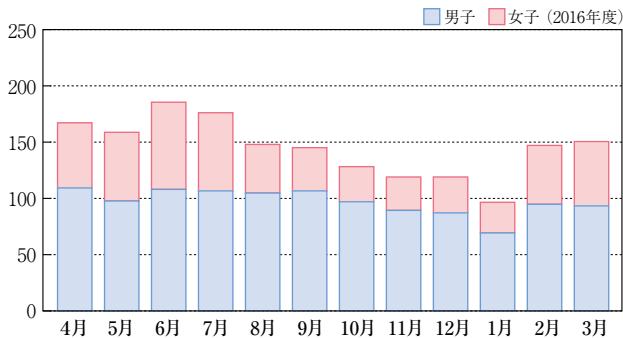
就職活動期にある3年・4年生やM1・M2生だけではなく、これからの進路について興味や関心、疑問や不安がでてきた低学年の学生やドクターコース・研究生などさまざまな学年の学生が利用しています。

◆ 相談内容

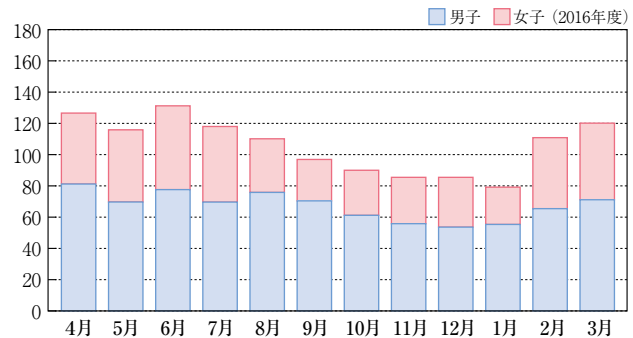
具体的な就職活動期には、自己分析や業界・企業選択について、エントリーシートや面接や筆記試験など選考についての相談が多く寄せられます。最近では、インターンシップに関する相談も増えています。就職活動が終盤になってきても、内定に関する相談や、決断をどう下すか、周囲の意見との相違や、進学か就職か、公務員か民間企業かなど、あらゆる時期にさまざまな相談が寄せられています。一見同じ相談にみえても、深く掘り下げていくと一人ひとり相談内容もその後の選択も異なります。

学生のみならずには学年・時期を問わず、自分の進路選択に真剣に取り組み、就職相談室を利用することで、疑問や不安を自信に変えていくことができるよう期待しています。

月別利用状況男女比較（面談回数）



月別利用状況男女比較（面談人数）



◆ 開設日及び開設時間

毎週 月曜～金曜
時間 10時～17時まで
(夏季・冬季休業中も開設)

◆ 利用方法

30分か50分を選択して下さい。予約制をとっています。
直接予約：就職支援室カウンターにて随時予約を受け付けています。
電話予約：052-789-2176（就職支援室）平日8時30分～17時15分
※2週間先までの開設日・空き状況は名大HP→教育／キャンパスライフ
→就職関連情報→相談室利用案内で確認できます。
※メールでの予約の場合は、学生相談総合センターのアドレスまでメールしてください。
E-mail: soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp



◆ 相談場所

学生相談総合センター内
就職相談室（就職支援室隣接）

就職支援室・就職相談室の連絡先



ホームページ
<http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/>



メールアドレス
s-shien.evententry@adm.nagoya-u.ac.jp



電話
052-789-2176

お気軽にお問い合わせください



教育推進部の窓

平成29年度 名古屋大学 全学対象就職ガイダンス等 今後の実施計画

○：学部4年、博士課程前期課程2年対象 △：学部3年、博士課程前期課程1年対象 ☆：全学年対象 ◇：インターンシップ参加学生対象 ◎：学部1年生、2年生対象

月	実施内容	詳細
8月	○ 第1回 学内合同企業選考会直前講座	合同企業選考会の利用の仕方、見所の解説
	○ 第1回 学内合同企業選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業による選考会
	○ 教員採用試験 個人面接・グループディスカッション対策講座 企業と博士人材の交流会	教員採用試験面接官経験者による実践的な教員採用試験対策 博士人材の採用を考える企業と博士人材の交流イベント
9月	○ 第2回 学内合同企業選考会直前講座	合同企業選考会の利用の仕方、見所の解説
	○ 第2回 学内合同企業選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業による選考会
10月	☆ 第1回 キャリアプランニング講座	これまでの計画の実施状況を確認し、後期をどう過ごすか計画する
	☆ 第2回 就職ガイダンス	内定学生による報告、及び座談会(希望者)
	☆ 業界研究セミナー(全5回)	企業を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	◇ 第3回 全学インターンシップ研修会	ワークやディスカッションを通してインターンシップの振り返りを行う
11月	☆ 教員就職ガイダンス	教員として求められる人材像及び採用試験制度の概要、先輩の体験発表及び懇談会など
	☆ 公務員研究セミナー	現職公務員が政策課題ややりがい語る
	☆ 業界研究セミナー(全5回)	企業を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	☆ 内定者座談会	相談員による講演及び内定者との座談会
	☆ OB・OG座談会(全3回)	企業で活躍するOB・OGを招き、職種研究やワークライフバランスについて理解する
	☆ 労働条件セミナー	求人票の見方、給与明細の見方等の解説
12月	☆ OB・OG座談会(全3回)	企業で活躍するOB・OGを招き、職種研究やワークライフバランスについて理解する
	☆ 業界研究セミナー(全5回)	企業3社を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	☆ 第3回 就職ガイダンス	就職活動に向けて自己理解・自己分析を深める
	☆ 第4回 就職ガイダンス	面接のポイント解説と模擬面接
1月	△ エントリーシート対策講座(全6回)	エントリーシートを書く際の注意点や相手に伝わる書き方をワーク形式を通じて確認
	△ グループディスカッション対策講座(全3回)	模擬グループディスカッションを体験
	☆ OB・OG座談会(全3回)	企業で活躍するOB・OGを招き、職種研究やワークライフバランスについて理解する
2月	◎ 1・2年生のためのキャリアデザインセミナー	将来に向けて今大切なこと等の講演及び演習
	△ 企業研究セミナー事前ガイダンス	企業研究セミナーの利用の仕方、見所の解説
	△ エントリーシート対策講座(全6回)	エントリーシートを書く際の注意点や相手に伝わる書き方をワーク形式を通じて確認
	△ グループディスカッション対策講座(全3回)	模擬グループディスカッションを体験
	△ 個人面接対策講座(全2回)	模擬個人面接を体験
	△ 集団面接対策講座(全2回)	模擬集団面接を体験
	☆ 第2回 キャリアプランニング講座	これまでの計画の実施状況を確認し、後期をどう過ごすか計画する
3月	△ 名古屋大学企業研究セミナー2018	業界を代表する企業による企業研究セミナー
	△ 名古屋大学キャリアフォーラム2018	地元優良企業を中心とする企業研究セミナー
	△ エントリーシート対策講座(全6回)	エントリーシートを書く際の注意点や相手に伝わる書き方をワーク形式を通じて確認
	△ グループディスカッション対策講座(全3回)	模擬グループディスカッションを体験
	△ 個人面接対策講座(全2回)	模擬個人面接を体験
	△ 集団面接対策講座(全2回)	模擬集団面接を体験
	☆ 国家公務員総合職中央省庁セミナー	試験、採用手続きの説明及び各府省業務説明
☆ 国家公務員一般職・地方公務員等合同業務説明会	試験、採用手続きの説明及び各府省、地方公務員の業務説明	

トピックス

平成28年度名古屋大学総長顕彰

本顕彰は、学問の研鑽や文化・社会活動等を通じて、「名古屋大学学術憲章」の目指す人物像「勇気ある知識人」を実践している学生を称えるために、平成15年度に創設されたものです。



平成28年度の募集は、ポスター、ホームページ及び名古屋大学駅電子掲示板等を通じて、平成28年12月5日(月)～平成29年1月26日(木)の期間に行われ、その結果、「学修への取り組み」部門に6件の学部推薦が、「正課外活動への取り組み」部門に自薦・他薦を合わせて9件の応募がありました。

これら合計15件の推薦・応募について、総長顕彰委員会による厳正な審査を経て、最終的に9名(団体代表を含む)の学生が選ばれ、卒業式終了後に行われた授与式にて、表彰されました。

授与式終了後の総長と受賞学生との懇談会では、和やかな雰囲気の中、総長から、学生に対する将来への激励があった後、関係教職員と受賞学生による活発な意見交換が行われました。



「学修への取り組み」部門(学部推薦)

- ◆ 鈴木 草苧 教育学部人間発達科学科4年
- ◆ 加藤 希歩 経済学部経済学科4年
- ◆ 戸谷 充寿 理学部化学科4年
- ◆ 野口 陽一郎 医学部医学科6年
- ◆ 崔 敏 工学部理工学科4年
- ◆ 赤塚 秀次 農学部応用生命科学科4年

「正課外活動への取り組み」部門(自薦・他薦)

- ◆ 名古屋大学学生法律相談所
(代表者：伊藤通崇 法学部法律・政治学科3年)
・社会への貢献活動・本学への貢献活動
弁論士として活躍しているOB・OGの協力を得ながら、主に学外の方を対象に無料法律相談を行うなど、気軽に利用できる法律相談が、社会への貢献活動として高く評価されたこと
- ◆ 混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ
(代表者：渡邊大貴 理学部物理学科3年)
・正課外活動(部活動)・本学への貢献活動
平成28年度の全日本合唱コンクールでは金賞2位、及びカワイ奨励賞などの数々の賞を受賞し、本学の名誉を高め、また、新ジャンルへの積極的な音楽活動が高く評価されたこと
- ◆ 木下悟(農学部応用生命科学科4年)
・本学への貢献活動・国際交流
日本人学生と留学生との交流を図るイベントの企画・運営による本学の国際交流の促進、留学や国際交流に興味を持つ学生の支援及び継続的な留学生支援により、本学の国際化に貢献したことが高く評価されたこと



メールアドレス登録についてのお願い

教育推進部基盤運営課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用しています。

緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータル(MyNU)よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】

- ・情報セキュリティ・インシデントに関する緊急・重要事項の連絡及び対応の要請
- ・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
- ・災害発生時の安否確認に関する連絡

美術館・博物館の無料入館

教育推進部基盤運営課

本学は、「徳川美術館(蓬左文庫含む)」、「名古屋ボストン美術館」、「名古屋市博物館」及び「名古屋市美術館」の大学メンバーシップ等の制度に加入しています。

この制度は、本学学生(学部学生、大学院生の正規学生の他、研究生、聴講生等の学生証を所持する非正規生を含む)であれば、学生証を入場の際に提示することにより、在学中に何度でも無料で入館できる制度です(一

部有料展示会等を除く)。学修や研究活動の合間に、美術鑑賞はいかがでしょうか。

詳しい展示内容や無料となる範囲等、詳細はそれぞれの施設のホームページで確認できる他、学内では学生向け掲示板に企画展等のポスターも掲示しています。

ゴミ出しマナーはルールを守って

教育推進部教育企画課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、種類毎に指定された曜日・場所に出すことになっています。

名古屋市内で単身で下宿生活を送っている学生は、地域の一員としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。

ゴミの出し方(種類の分け方)が判らないときは、各区の環境事業所、または町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

なお、学内に家庭ごみや粗大ごみを持ち込んで投棄することは、不法投棄ですので絶対行わないようにしてください。本学では、不法投棄を発見した場合、警察への通報などの対応を取っています。

自転車の盗難防止・走行上の注意について

教育推進部教育企画課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック(ツーロック)にしてください。自転車窃盗犯の約70%が「ツーロックされている自転車は盗まない」と言っています。

なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役・50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必ず書類送検

され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が課せられることがあります。絶対に行わないでください。

また、自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命にも関わる大事故につながりかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

飲酒に関する注意喚起

教育推進部教育企画課

未成年者の飲酒は法律で禁止されています。未成年者が飲酒をしないことは当然のことですが、相手が未成年者と知りながら飲酒を勧めることはしないでください。

また、度を過ぎた飲酒は、命を落とす危険な行為です。イッキ飲みによ

る飲酒の強要や酒量を競うことはしないでください。

なお、飲酒運転は重大な犯罪です。車、バイクだけではなく、自転車も含め、飲酒運転は絶対にしないでください。

学生のみなさんは、法令を遵守し、節度ある行動を心がけてください。

薬物に関する注意喚起

教育推進部教育企画課

昨今、大学生による大麻をはじめとする薬物事件が、新聞等でも大きく報道されています。

軽い気持ちや興味本位で禁止薬物に手を出してしまうと、自分の人生において取り返しのつかない事態に追い込まれます。罪の重さを後悔しても、

罪を消し去ることはできません。

学生のみなさんは、法令を遵守し、絶対に禁止薬物に手を出すことがないようにしてください。

宗教団体等への注意喚起

教育推進部教育企画課

学校内で強引な勧誘を行う宗教団体や、「自主的なサークル」を装って本学の活動目的を伝えず学生を勧誘する宗教団体などに対する注意喚起については、学生生活ガイダンスや掲示物等でも周知しているところですが、素性のよくわからない相手に対して、安易に携帯電話の番号などの個人情報伝えることのないように注意してください。

また、学生のみなさんが少しでも不安や疑問を感じた場合は、教育推進部又は各学部・研究科の教務担当係や学生相談総合センターに相談してください。

無用なトラブルに巻き込まれないよう、無用な勧誘はきっぱりと断るようになってください。

マルチ商法等に注意

教育推進部学生支援課

学生を狙った悪徳商法が多発しています。マルチ商法等みなさんが陥りやすい消費者トラブルの事例は名古屋大学学生便覧に記載してあります。不要なものはその場ではっきり断ることが大切ですが、契約してしまった後で解約したいときはクーリングオフ制度がありますので、なるべく早く消費者相談窓口で相談してください。

消費生活情報あいち暮らしWEB

<http://www.pref.aichi.jp/kenmin/shohiseikatsu/>

県消費生活総合センター

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター1階

TEL: 052-962-0999

災害対策室より

防災訓練で災害のイメージを高める

◆ 様々な災害を想定する

集中豪雨や台風の被害が多い季節になりました。いまから17年前、2000年9月11日の東海豪雨では、名古屋市周辺で大きな被害を生じました。短時間の豪雨により河川の氾濫や急速な浸水の危険があり、傾斜地では土石流などもあります。都市域では地下や道路のアンダーパスの浸水など思わぬ被害も発生しています。名古屋大学キャンパスは大きな被害は受けませんでしたが、夕方に交通が乱れ、多くの教職員の帰宅が遅れて、深夜まで駅にとどまった人もいました。

同じく都市の災害として、昨年12月の新潟県糸魚川市の大規模火災がありました。強風により被害が広がりましたが、適切な避難により死者はありませんでした。1923年の関東大震災では、強風で広がった火災で都心部が広範囲で焼失し、10万人近い犠牲者を出しています。ロンドンの高層マンション火災も記憶に新しいところです。現在の建築・都市は防火が進んでいますが、それでも火災の危険を忘れることはできません。

◆ 前期防災訓練の結果

名古屋大学では、全学の防災訓練を毎年2回行っています。5月24日の正午に一斉非常放送と安否確認訓練を実施しました。地震、豪雨、その他の大規模な災害では、特に学外で、ひとりひとりが無事かどうかの確認がとても大切になります。今回の安否確認システムの確認率は全学で約78%、2万人以上が入力しました。もし、安否確認メールの受信などができていない場合は、後期訓練に向けて必ず確認してください。

また消防訓練では、はしご車による避難や消火器使用なども行いました。大学には多くの学生が利用する全学教育棟や、危険な薬品を扱う実験室もあり、火災が起こったこともあります。初期消火のための消火器や、素早く落ち着いて避難するための経路の確認などが大切です。

◆ 後期防災訓練に向けて

10月26日(木)11:30に全員参加で行います。授業中に大きな地震が起こったとして、緊急地震速報、避難、安否確認などの訓練に取り組んでください。具体的な行動は大震災行動マニュアル(名刺サイズに折りたたまれた黄色の資料)に書かれています。このマニュアルの中の避難者確認カード(2枚)に名前や学生番号などを記入して、いつも持ち歩きましょう。学内で訓練や本当の災害の時はこのカードを提出し、安否確認に使用します。安否確認システムとカードの全く違う方法を使うことで、様々な状況に対応します。

自分が直面する災害や危険を具体的にイメージすると、訓練の効果が高まります。大学、通学経路、自宅など、様々なリスクを考えてみましょう。



伝言板(2)

学生住居・家庭教師の斡旋・紹介及びアルバイトの情報提供

教育推進部学生支援課

それぞれ、次により斡旋・情報提供をしています。

1.住まいの斡旋

名古屋大学消費生活協同組合
南部厚生会館1階「住まいの斡旋コーナー」
(Tel.788-7875)

2.アルバイトの求人情報

- 1) 家庭教師の斡旋・紹介…名古屋大学消費生活協同組合
北部厚生会館2階「組合員コーナー」
(Tel.781-1111)
- 2) 一般アルバイト…学生アルバイト情報ネットワーク事務求人サービスで情報提供しています。
<http://www.aines.net/nagoya-u/>

国民年金の学生納付特例制度について

教育推進部学生支援課

20歳になったら必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務づけられています。しかし、学生の在学期間中は所得がありませんので、保険料納付が困難な場合があります。このことから、在学期間中の保険料が後払いできる学生納付特例制度があります。

学生納付特例制度は、申請をして承認を受ければ在学期間中の保険料が後払いできる制度で、この特例の承認を受けると、学生納付特例期間中の障害などといった不慮の事故には、満額の年金が支給されます。

<http://www.nenkin.go.jp/service/kokunen/menjo/20150514.html>